

# 低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒技術

## 背景と課題

- イチゴ栽培では、萎黄病や炭疽病への対策が課題
- 現在行われている太陽熱消毒は、均一性や土壌深層への効果に不十分な場合



[萎黄病]



[炭疽病]

## 研究の目的

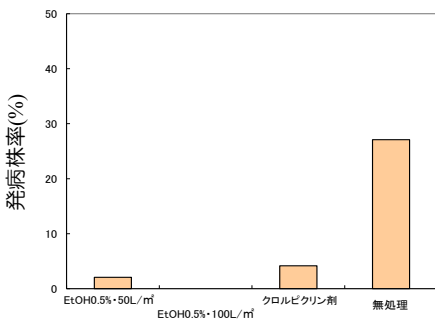
- 土壌深層部まで到達できる0.5~2%濃度のエタノールを利用した土壌還元消毒法による効果と最適な処理方法の構築

## 研究の内容および成果

- 土耕栽培及び固定畦栽培で、低濃度エタノールによる還元作用を利用したイチゴ土壌病害への効果を検証
- エタノールの濃度や処理量など、最適な処理方法を構築



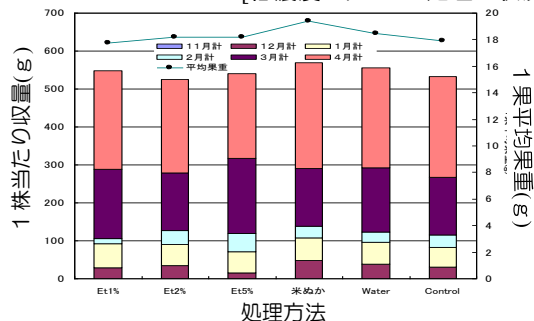
[低濃度エタノール処理の状況]



[イチゴ萎黄病に対する抑制効果]



[イチゴ炭疽病に対する抑制効果]



[固定畦における低濃度エタノール処理後の収量及び平均果重]

- 低濃度エタノールによる土壌消毒は、クロルピクリン剤と同等の高い効果
- 処理後のイチゴへの生育や収量への悪影響はない
- 通常の方法では、消毒効果の劣る土壌深層部でも高い効果

イチゴ萎黄病・炭疽病に対し、高い発病抑制効果と安定的な効果！

最適な低濃度エタノール処理方法が明らかに！

(研究期間：平成20年~23年；新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業)

## 生産者のみなさまへ

- 太陽熱消毒に比べ、処理開始時期を広く取ることができます。
- 低濃度エタノールは、液体のため土壌深層部まで浸透しやすく、太陽熱消毒では防除が難しい固定畦栽培等への活用が可能です。
- イチゴの萎黄病や炭疽病に加え、ネコブセンチュウ、ウリ科ホモブシス根腐病などにも高い効果があります。

問合せ先 徳島県立農林水産総合技術支援センター  
資源環境研究課 病害虫・鳥獣担当  
電話 088-674-1954